



図書館だより

6月号

東峰学園（中学部） 梶原弥生

あじさい
紫陽花がきれいな季節になりました。梅雨に入ると、室内で過ごすことが多くなります。こんな時こそ、ゆっくり本を読んでみませんか。

雨が降る日に読みたい本

「雨ふる本屋」(日向理恵子/作)

雨の日に、かたつむりを追って図書館の奥へ奥へと迷い込みたどり着いた小さな扉は、「雨ふる本屋」の入り口でした。そこにはドードー鳥のフルホンさん、半人間半分妖精使いの舞々子さん、妖精たちがいて、物語の種から本を製本していました。



「雨の降る日は 学校に行かない」(相沢沙呼/作)

学校生活に息苦しさを感している女子中学生の憂うつと、かすかな希望を描き出す6つの物語です。中学生という時期は思春期真っ盛りであり、さまざまなことを思い悩む年齢です。女の子たちが学校生活において生きづらさを感じながらも何かを見いだそうとします。



「雨の日も、晴れ男」(水野敬也/著)

二人の幼い神のいたずらで、不幸な出来事が次々に起こる会社員のアレックス。リストラされても、詐欺にあっても、見知らぬ男に殴られても、どんなにつらいことがあっても明日に希望がもてる、人生で一番大切な事は何かを教えてください。

「レイン 雨を抱きしめて」(アン・M・マーティン/作)

クラスになじめず、父親ともうまくいかない〈アスペルガー症候群〉の少女ローズにとって、愛犬レインは大切な心の支えでした。ところが、街を巨大ハリケーンが襲い、レインは行方不明になってしまいました。



「おじさんのかさ」(佐野洋子/作・絵)

立派なかさがぬれるのがいやで、かさをさそうとしないおじさん。ある雨の日、子どもたちの歌をきいたおじさんは、初めて、かさを広げました。



「バムとケロのにちようび」(島田ゆか/作・絵)

雨の日曜日は、サッカーも砂遊びもできません。そんな日は、ちらかった部屋を片づけて、お菓子を用意して、それから本を読もうと思っていたのですが・・・。

「雨ダルさん」の本(川端裕人/著)

雨が降ると急に体調が悪くなる人＝「雨ダルさん」が少しでも楽になれる方法が詳しく書かれた本です。雨が降るとどんよりした気分になりますが「雨ダルさん」は、どんよりレベルを超えて、だいぶ深刻です。体がだるくなって、元気がなくなり、頭痛、めまい、耳鳴りがする人もいます。



新 刊 案 内



「13歳からの手帳活用術」(小澤淳/作)

学校や部活、塾などで毎日忙しい。自由時間がほとんどない。テスト勉強で、気持ち焦るけど十分な勉強時間がない。そんなことはありませんか。しかし、どんなに忙しくても、勉強する人はちゃんとやっています。夢の実現のため「手帳」を使って時間を有効活用してみませんか。



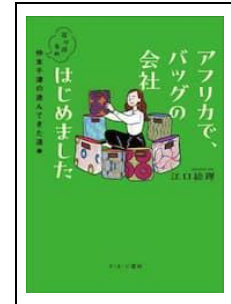
「給食が教えてくれたこと」(松丸奨/著)

「給食が大きらいだった」という著者が、子どもたちに「最高に面白い！」とうならせる給食作りを目指して、さまざまな壁に直面しながらも日々奮闘する姿を描きます。



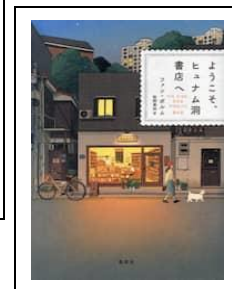
「透明なルール」(佐藤いつ子/著)

平凡な中学生・優希は、クラス替えでたまたま「1軍」のグループに入れたものの、本当の自分をかくして生きていました。成績が悪いふりをするし、オタクなところは、絶対にばれたくありません。「周りからどう思われるか」を気にするあまり、生きづらさを感じる優希が転校生やマイペースな友人との交流を通じて、自分を縛る〈透明なルール〉に気づき、立ち向かっていきます。



「アフリカで、バッグの会社をはじめました」(江口絵理/作)

医師から国連職員、そして研究者へと、将来の夢が変わってきた仲本千津さん。胸の奥には「人の命を救いたい」という一途な思いがありました。「アフリカのシングルマザーの力になれるビジネスはないだろうか」そんな時、出会ったのがアフリカンプリント。アフリカ・ウガンダでバッグ工房を立ち上げます。



「ファラオの密室」白川尚史/作

紀元前1300年代後半、古代エジプト。死んでミイラにされた神官のセティは、心臓に欠けがあるため冥界の審判を受けることができません。欠けた心臓を取り戻すため、地上に舞い戻りますが、期限は3日。ミイラのセティは、自分が死んだ事件の捜査を進めるなか、もうひとつの大きな謎に直面します。



他にもたくさん新刊が届きました。ぜひ読んでみて下さい。

「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」(青山剛昌/原作)

「放課後ミステリクラブ 金魚の泳ぐプール事件」(知念実希人/著)

「ようこそ、ヒュナム洞書店へ」(ファン・ボルム/著)

「俺たちの箱根駅伝」上・下巻(池井戸潤/著)

「いえ あるひせんそうがはじまった」(カテナ・ティボゾーラ/作)

「真実の口」(いとうみく/作) 「六人の嘘つきな大学生」(浅倉秋成/著)

「Spring」(恩田陸/著) 「ブラック・ショーマンと覚醒する女たち」(東野圭吾/著)